



尿路上皮

アベルマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な尿路上皮癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
バベンチオ	10 mg/kg	d1

エンホルツマブ ベドチン

催吐リスク: 2

適応疾患: がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パドセブ	1.25 mg/kg	d1、8、15

エンホルツマブ ベドチン+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 根治切除不能な尿路上皮癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
パドセブ	1.25 mg/kg	d1、8

キイトルーダ(3週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な尿路上皮癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1

ゲムシタビン+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 尿路上皮がん(進行・再発、術後補助)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	4.5 AUC	d1
ゲムシタビン	1000 mg/m ²	d1、8

ゲムシタビン+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 尿路上皮がん(進行再発・術後・術前)

投与スケジュール: 4週1コース (4コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ゲムシタビン	1000 mg/m ²	d1、8、15
シスプラチン	70 mg/m ²	d2

デュルバルマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 尿路上皮がん(術後)

投与スケジュール: 4週1コース(8コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ(体重30kgより上)	1500 mg/body	d1
イミフィンジ(体重30kg以下)	20 mg/kg	d1

デュルバルマブ+ゲムシタビン+シスプラチン《Ccr40mL/min以上60mL/min未満》

催吐リスク: 4

適応疾患: 尿路上皮がん(術前)

投与スケジュール: 3週1コース(4コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ(体重30kgより上)	1500 mg/body	d1
イミフィンジ(体重30kg以下)	20 mg/kg	d1
ゲムシタビン	1000 mg/m2	d1、8
シスプラチン	35 mg/m2	d1、8

デュルバルマブ+ゲムシタビン+シスプラチン《Ccr60mL/min以上》

催吐リスク: 4

適応疾患: 尿路上皮がん(術前)

投与スケジュール: 3週1コース(4コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ(体重30kgより上)	1500 mg/body	d1
イミフィンジ(体重30kg以下)	20 mg/kg	d1
ゲムシタビン	1000 mg/m2	d1、8
シスプラチン	70 mg/m2	d1

ニボルマブ(4週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 切除後の高リスク筋層浸潤性尿路上皮癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	480 mg/body	d1

パクリタキセル+ゲムシタビン

催吐リスク: 2

適応疾患: 尿路上皮がんに対するセカンドライン

投与スケジュール: 3週1コース (3コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ゲムシタビン	1000 mg/m2	d1、8、15
パクリタキセル	200 mg/m2	d1

ペムブロリズマブ(6週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な尿路上皮癌

投与スケジュール: 6週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	400 mg	d1

推奨投与量の単位

mg/m²:【体表面積】あたりの量

mg/kg:【体重】あたりの量

AUC:カルバートの式により算出 ⇒ 投与量(mg/body)=AUC目標値 × (GFR+25)

略語の意味

NSCLC:非小細胞肺癌

SCLC:小細胞肺癌

PD:病勢進行